

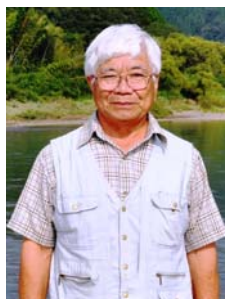
—— 登壇者の紹介 ——

朝戸 武勝



知名町前副町長。1945年生れ。
1964年知名町役場入庁、町のグランドデザイン「フローラルちな」計画を長年にわたって担当。
2010年副町長退任。
町文化財保護審議委員副会長・町社会福祉協議会長を務めるほか、瀬利覚字地域創造委員会「ファンゲル塾」代表として福祉・地域づくりに活動中。

新納 忠人



知名町文化財保護審議会委員、えらぶ郷土研究会副会長、沖永良部島植物愛好会会長を務める。
1943年沖永良部島生まれ、知名町小米(こごめ)在住。新納酒造(株)前代表。

川瀬 泰人



2006年に名古屋大学大学院 工学研究科にて博士(工学)の学位を取得。
稲畑産業(株)、住友製薬(株)を経て、1986年に千葉蒸溜(株)入社1988年に大垣蒸溜工業(株)の監査役に就任(兼務)する。
1991年日本リファイン(株)取締役大垣営業部長、取締役企画部長に就任(兼務)。
(1991年大垣蒸溜工業(株)が千葉蒸溜(株)を吸収合併し、日本リファイン(株)に社名変更)1993年日本リファイン(株)専務取締役役に就任し、2003年同社代表取締役社長に就任(現在)。1994年より日本溶剤リサイクル工業会 事務局長も務める。

木村 晴信



1969年生まれ。横浜国立大学教育学部総合芸術課程卒。
1994年大日本印刷入社後、住空間関連の企画、マーケティング部門を経て、2011年4月よりソーシャルイノベーション研究所へ。2013年5月研究所内にライフスタイルデザインチームを設立。東京大学ジェロントロジー・ネットワークWG9コミュニティプレイス研究会のリーダー。「社会が求めるものを、ビジネスにしていく」ことの実現に向け、バックカastingからのライフスタイルデザインを中心に活動中。

石田 秀輝



2004年(株)INAXを経て現職、ものづくりのパラダイムシフトに向けて国内外で多くの発信を続けている。特に、2004年からは、自然のすばさを賢く活かすあたらしいものづくり『ネイチャー・テクノロジー』を提唱、また、環境戦略・政策を横断的に実践できる社会人の人材育成や、子供たちの環境教育にも積極的に取り組んでいる。地球村研究室代表、ネイチャーテック研究会代表、サステナブル・ソリューションズ理事長、ものづくり生命文明機構理事、アースウォッチ・ジャパン理事ほか。
近著;キミが大人になる頃に。環境も人も豊かにするくらしのかたち(日刊工業新聞社)ほか多数。知名町徳時に酔庵を構え、沖永良部島をこよなく愛す。

古川 柳蔵



1972年、東京生まれ。博士(学術)。
東北大学大学院環境科学研究科准教授。専門は環境イノベーション。ライフスタイル変革のイノベーション研究を行う。
東京大学大学院工学系研究科修了後、民間シンクタンクを経て、2005年に東京大学大学院にて博士号取得。2005年に現職。著作に『環境制約下におけるイノベーション』(東北大学出版会、2010年)、『キミが大人になる頃に。』(日刊工業新聞社、2010年)、『未来の働き方をデザインしよう』(日刊工業新聞社、2011年)、『90歳ヒアリングのすすめ』(日経BP社、2012年)等がある。